

三河武士のやかた家康館

令和3年度上半期企画展示予定

特別展示室 及び 1階展示室		
会期		展覧会名称
始	至	
令和3年 3月20日(土)	5月9日(日)	館蔵優品展 相応寺の華 ～大名調度の美～
展示概要	<p>徳川家康の側室であるお亀の方は、尾張徳川家初代義直(家康の九男)の生母であり、相応寺(名古屋市)は義直が母の菩提を弔うために寛永20年(1643)に建立した浄土宗寺院です。寺名は家康の死後にお亀の方が剃髪して称した「相応院」に由来します。お亀の方が相応寺に葬られて以後、同寺には歴代の尾張徳川家に関する人物が葬られるとともに、その遺品が納められました。本展では、当館開館時のコレクションである相応寺旧蔵資料の中から、大名家の生活を彷彿とさせる華やかな調度品を中心に展示します。</p>	
5月14日(土)	6月13日(日)	浮世絵の中の岡崎 ～北斎・広重が描いた風景～
展示概要	<p>浮世絵とは江戸時代に誕生した絵画のことです。「浮世」という言葉は「現在の世」のことで、「いま」を生きる人々の生活・文化を、版本の挿絵や版画などによって表現しました。浮世絵は17世紀の経済発展によって大量に出版されようになり、誰にでも容易に手に入れることのできる大衆的な美術品として、広く普及していきました。また、それと同時に情報伝達の媒体としても活用されました。浮世絵の中でも、本展覧会で取り上げる「風景画」は、他分野に比べると遅い段階の天保年間(1830～44年)に確立しました。大衆の行楽や旅行に対する関心の高まりを背景に、葛飾北斎や歌川広重などによって、次々と名作が生み出されました。本展では岡崎の浮世絵風景画の中から、北斎と広重が描いたものをご紹介します。江戸時代における岡崎の景色を心ゆくまでご堪能ください。</p>	
6月19日(土)	8月29日(日)	天下百剣と名刀写し展in岡崎
展示概要	<p>古くから刀匠は自分の腕を磨くために数々の名刀や名工の作風にならった写しを作ってきました。それは現代に活躍する刀匠たちも変わらず、自分の実力を試すために数々の名刀の写しを作ることに挑戦してきました。この展覧会は全日本刀匠会の協力のもと、美少女の姿をした様々な名刀が登場する人気コンテンツ「天下百剣」とコラボした企画展です。なかなか実物にお目にかかれない有名な刀を、現代の刀匠が作った写しや袴とキャラクターのパネルと合わせて展示します。また、今回の開催地である岡崎に関係の深い日本刀も同時に展示し、地元と日本刀の関係も紹介します。はるか昔から現代まで伝わる技術で作られた日本刀の美しさをご覧ください。</p>	

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
 入場料：大人(中学生以上)360円・小人(5歳以上)200円
 休館日：年末(12月29日～12月31日)

※各企画展の詳細については内容が決定し次第、ホームページ等で随時公表していきます。
 ※都合により企画展のタイトルを含めた内容及び会期を変更する場合がございます。ご了承ください。

三河武士のやかた家康館